

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター
平成28年度事業報告書

(第14期：平成28年6月1日より平成29年5月31日まで)

<目次>

- 平成28年度事業の方針
- 平成28年度所信

I 全体の概要

II 運営について

1. 諸会議の開催状況（*詳細は資料1 諸会議の開催状況を参照）
2. 財政の状況について（*詳細は資料2 決算書を参照）
3. 事業・会務・事務局等の運営全般について（*詳細は資料3 定款、資料4 諸規定を参照）
4. 資産の取得、機器の更新等について

III 個別に行った事業について

1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- (1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- (2) その解決のための事業

1-(1)-1 三重県の各種取り組みへの参画

1-(1)-2 地域課題の発見と解決を意識した各種団体・講座等への参加

1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携「桑名員弁地域円卓会議」

1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

1-(2)-4 桑名市市民活動センターの協働運営支援

2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- (3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- (4) その市民活動への応援事業

2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

2-(4)-1 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2-(4)-2 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

2-(4)-3 各種講座への講師派遣

2-(4)-4 前掲以外の市民活動への支援

2-(4)-5 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- (3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- (4) その市民活動への応援事業

3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- －(5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- －(6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信と「きらきら☆らじお」の展開

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

■ 平成28年度事業の方針

- (方針1)「市民活動を支援する事業を行う」
- (方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」
- (方針3)「市民活動支援のしくみを充実させる」
- (方針4)「低コストで運営を行う」
- (方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」

■ 平成28年度所信

7月の参議院選挙をにらんで、自民党政権の施策のキーワードは、「地方創生、一億総活躍社会」。それはこれまでの施策が、地方や個人に行き届かなかったことを認めて、資金を地方や個人に廻るようにしますというもの。参議院選挙前のお話なのでその信憑性は確認できませんが、「地方の衰退や貧困」の本当の理由、圧倒的な中央集権と、中間層の放置による貧困化で維持してきた、経済政策の失敗が見えてきます。人口減少社会とはいえ、国内消費を維持できない経済施策では、行き詰まるのは当然です。

このような中、特定非営利活動促進法が6月1日に改正・成立しました。これは縦覧期間の短縮や、貸借対照表の公開、据え置き書類の期間の延長、資産総額の登記の廃止などが盛り込まれ、全体として特定非営利活動促進法を使いやすくするための改正ということでした。施行は一年以内ですが、ではこれで、地方や個人への資金・資源の新しいながれをつくりだすことができるのかというと、それにはまったく関わっていない事務的手続き的な改正でした。

さて、政策的にほとんど放置されているNPOですが、地方の現場での暮らしを見つめてみれば、『個人の自由な意志によってさまざまにつながりながら、「非営利経済」で人々に必要なサービスを提供していく』市民活動が、社会での人々の暮らしを支える社会的装置として大切な役割を果たしていることがわかります。

「個人の自由な社会貢献活動」が「多様」に「持続的」に行われ、さまざまな主体と結びついて活動していくことで、更なる非営利経済の「資金・資源」の循環を生みだし、「新たな可能性」をひらき、「新しい価値の創造」へと展開していくことも、容易に想像できます。

私たちは、これまで取り組んできた「市民活動の応援」を進め、「市民活動応援☆きらきら基金」をより充実させていくことで、市民活動団体間の「資金・資源」の循環を増やし、企業や他地域からの新たな資源の流入をつくりだしていきたいと思えます。これらの取り組みにより、「新たな可能性」「新たな価値観」「新たなサービス」が生み出され、この地域での人々の生活がより魅力的になることを願っています。

つきましては、皆様の一層のご理解、ご参画、ご協力を心よりお願い申し上げます。

I 全体の概要

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センターは、平成16年4月法人登記をして設立しました。決算期の関係で第1期は2ヶ月であり、今期（第14期）は実質的にまる13年が終了する時期になります。また今期は、設立から第4期までつとめた郷司理事長を経て、第5期からの服部理事長の10年目でありましたが、10月28日死去され、代わって近藤順子が理事長に就任しました。また、平成26年3月24日より、小笠原理事長と郷司理事長が加わり、同年3月31日から認定NPO法人として、3人の理事長による複数代表の運営体制の実質的な3年目が終了したことになります。

NPO界の状況としては、平成28年6月に特定非営利活動促進法の改正が行われ、多くのNPO法人が定款の変更手続きが必要となりました。当会においては既にHPでの公開をうたっており、特に対応は必要ありませんでした。平成28年12月2日に「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（以下休眠預金活用制度）」が成立しました。「休眠預金等」とは10年以上入出金等の異動がない預金等で、毎年1000億円程の「休眠預金」が発生しています。このうち、払い戻し額（400億円～500億円程度）を除いた分が「民間公益活動」を促進するための支援に使われます。これから「資金分配団体」が公募され、平成31年頃には第一次の交付が開始される見込みです。資金は「助成・貸付・出資」というかたちをとって、支援が行われます。今後この動きを積極的にリサーチしていきます。

さて、当期の当会の事業の方針は、(方針1)「市民活動を支援する事業を行う」、(方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」、(方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」、(方針4)「低コストで運営を行う」、(方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」というものでした。

まず(方針1)「市民活動を支援する事業を行う」については、まちのファンクラブの事務局を担い、桑名市、いなべ市、東員町の市民活動交流会に参加しました。また、折に触れてさまざまな市民活動に関わる団体への具体的な支援、助言などを行い、市民活動についての情報の提供を継続的に行いました。また、みえ市民活動ボランティアセンターニュースでは地域の団体を紹介しました。

(方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」では、みえNPOネットワークセンターに近藤理事が参画しました。12月のNPO月間や市民サミット1周年記念行事を実施しました。みえきた市民活動センターとしては、域内の団体と協働してきらきら基金を運営し、きらきら大賞の他に10団体4事業に、合計45万円を助成しました。並行して、地域の市民活動団体訪問調査、インターネットきらきら☆らじお放送、まちのかわらばんの発行をしました。また、桑名市市民活動センター運営支援業務を受託しました。その他、各種の勉強会、講習会等に参加し、研究を進めました。

(方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」については、46個のカエル・こぶた&小熊の募金箱を、市民活動団体関係者や商店、桑名商工会議所女性部の皆さんなどにご協力いただき、期中に137口38万円を越える助成原資へのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

(方針4)「低コストで運営を行う」では、日本郵便年賀基金の助成を受け、また、寄附金と、みえNPOネットワークセンター関連事業収入などで455万円ほどの収入があり、支出は185万円ほどでした。認定NPO法人の見なし寄附で所得税が控除され、地方税を引いて、262万円ほどの黒字となりました。そのうち、助成の原資と運営に用途限定している寄附金を116万円ほど繰り越しました。

これらの取り組みについては、(方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」にそって、会員間の連絡を

密にし、さまざま検討を行った上で、実施しました。

II 運営について

1. 諸会議の開催状況（*詳細は資料1 諸会議の開催状況を参照）

今年度は定例総会1回（2016年7月12日）と臨時総会1回（2016年11月15日）、理事会を6回（2016年6月21日、7月12日、11月1日、11月15日、12月18日、2017年3月21日）開催しました。その他に必要なに応じて個別の会議を開催し、12回にわたって行ったきらきら基金運営委員会の機会や役員（理事・監事）メーリングリストなどを有効に活用して頻繁に「相談・提案・報告・了承」を行い、当会の全体状況の把握や進んでいる方向の確認、個別の事業のスタンスなどの情報を共有しました。

2. 財政の状況について（*詳細は資料2 決算書を参照）

基本的に「持ち寄り」で運営するのが当会の原則です。今期は、455万円ほどの収入があり、185万円ほどの支出がありました。このうち、寄附金収入が335万円強ありました。また、認定NPO法人であるため、事業収益6.5万円強の課税所得が見なし寄附で控除され、地方税7万円を引いた6.5万円強を非課税事業に繰り入れることができました。最終的に293万円強の次年度繰越金（使途限定寄附金を含む）を生むことが出来ました。前期末の正味資産額30万円ほどに、今期の262万円を加え、今期末の正味財産額は293万円となりました。そのうち、助成の原資と運営に使途限定している寄附金は116万円強あり、一般正味財産は146万円弱です。

経常収益では、非課税部門では、基本となる会費が11名で2.2万円、きらきら基金関連事業への日本郵便株式会社年賀寄附金の48万円、きらきら基金への寄附などが140万円でした。課税部門では、みえNPO ネットワークセンター参画支援事業と地域円卓会議事業とで11万円、桑名市市民活動センター運営支援事業が51.3万円でした。

経常費用では、人件費が18万円、人件費以外の経費的支出120万円でした。非課税部門の支出は、きらきら基金の運営費が78万円と30万円の赤字、助成金支出が45万円と96万円の黒字、その他の事業では197万円の黒字で、非課税部門合計で269万円の黒字となりました。課税部門では、桑名市市民活動センター運営支援事業が、52.8万円の支出で1.5万円の赤字でした。その他事業で8万円ほどの収益があり、6.5万円の黒字となり、見なし寄附制度により全額非課税となりましたので、正味財産を増やすことができました。

今年度の大きな出来事の一つとして、故服部則仁さんからの遺贈200万円（特定非営利活動法人 みえきた市民活動センターへの寄附100万円、きらきら基金への寄附100万円）が、助成金・資産の増額に大きく影響を受けています。

最初に記した通り、「持ち寄り」での運営が当会の基本であり、実際とても多くの持ち寄りをして支えていただいていた数字となっています。

3. 事業・会務・事務局等の運営全般について（*詳細は資料3 定款、資料4 諸規定を参照）

さまざまな事業を同時並行的かつ継続して行ったため、会務の役割分担は半数以上の理事がフルにうごきましたが、ITを活用してこまめに情報を共有することでお互いにカバーすることができました。

一連の事業について、きらきら基金事業の市民活動団体取材と助成事業、まちのかわらばん、きらきら☆らじおなどについて、理事たちの大きな負担となりました。また「みえNPOネットワークセンター」への支援についても、負担が少数の理事に集中しました。あればあるように、なければないように、事務局運営も含め、運営全般について対応することができました。

4. 資産の取得、機器の更新等について

基本的に資産はありません。また、今期の資産の取得、機器の更新等もありません。具体的な資産の取得や機器の更新などに関する特記すべき事項はありませんでした。

Ⅲ 個別に行った事業について

1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- －(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- －(2) その解決のための事業

1-(1)-1 三重県の各種取り組みへの参画

1-(1)-2 地域課題の発見と解決を意識した研究会、講座等への参加

1-(2)-3 桑名地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

1-(2)-4 桑名市市民活動センターの協働運営支援

1-(1)-1 三重県の各種取り組みへの参画

今年度は、実施しませんでした。

1-(1)-2 地域課題の発見と解決を意識した研究会、講座等への参加

桑名員弁地域の市民活動団体が元気で活躍できるよう、市民活動支援全体の課題解決に向かって、各種の講座、研究会などに6回参加し、必要な情報の収集をしました。

具体的には、9/29 桑名北ロータリークラブ インターシティミーティング、10/22 クラウドファンディングシンポジウム（三重県主催）、10/26 OKa-Bizの秋元さん講師「稼ぐNPOになる！～ビジネスセンスの磨き方」講座、11/26 中部まちづくりパートナーシップ大賞最終選考会（ウィンクあいち）、2/5 地域連携フォーラム～大人たちの研究・活動発表（四日市大学）、2/26 休眠預金活用制度と新基金（今池ガスビル）に参加しました。

1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

昨年行われた「市民サミット」の流れで東海市民社会ネットワークが設立され、3 県での政策提言に関する学習会が、三重県でも開催され、参加しました。5 月 21 日に市民サミット一周年を記念してフォーラムが開催され、参加しました。

その他、2 月 20 日に一宮で行われた「市民活動センタースタッフ交流会(地域の未来支援センター主催)」にも参加しました。

1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携「桑名員弁地域円卓会議」

平成 28 年 11 月 26 日、第 8 回きらきら基金助成事業の中で、午後 2 時から 4 時まで、員弁コミュニティプラザにて、「この地域の社会貢献活動が連携するには」というテーマで、行政・企業・社協・NPO などの社会貢献活動に関わる 14 名の委員で話し合いました。

はじめに 10 分ほど、進行役のパートナーシップ・サポートセンター山崎恵美子さんから、服部則仁さんとの関わりの経緯や業績、思い出、“ごっちゃにのまち”の話がありました。この地域の企業の社会貢献活動が連携するには人と人がつながる、つなげるには地域との関わりが重要で全員参加型のまちづくりの仕組みが必要との話になりました。それをつなぐ役割として、公民連携やコラボ関係で互いを知ることから、そして寄り添いの関係からつながり、ひろがりになるとの話でした。知ること、聞くこと、参加することで地域が元気になるということが話し合われました。ちなみに参加者は、行政として、三重県、桑名市、東員町、社協として、桑名市、いなべ市、企業として、デンソー大安製作所、アサプリホールディングス、桑名商工会議所、NPO として、生ごみリサイクル思考の会、いなべこども活動支援センター、桑名市市民活動センター協働運営委員会、いなべ市市民活動センター、東員町市民活動センター運営委員会が参加しました。

1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

平成 29 年 1 月 21 日、くわなメディアライブで行った第 9 回助成事業の中で、午後 1 時 20 分から 1 時間ほど、企業や経済団体など、経済関連の 24 の組織に企業の社会貢献活動の展示をしていただき、内 4 つの組織の皆さんに活動の内容を発表していただきました。これらの発表に、桑名ジュニアサミット参加高校生が感想を述べ質問をし、特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ理事中尾さゆりさんに一つひとつ講評をいただき、総括コメントもいただきました。また、7 企業にも社会貢献活動報告も紹介していただきました。

また、3 月末に発行した、まちのかわらばん 2017 年春特大号で、この 26 社・経済団体の社会貢献活動の取り組みを掲載し、市民活動団体と併せて紹介することができました。

1-(2)-4 桑名市市民活動センターの協働運営支援

年度途中の 8 月から「桑名市市民活動センター運営支援業務」を委託し、協働運営支援を行いました。

具体的には、桑名市市民活動センターの運営を支援する協働運営委員を登録団体から募り、毎月一回、協働運営委員会を開催しました。必要な議事や意思決定を行う他、協働運営委員間のコミュニケーションを円滑にし、お互いの持つ問題意識や解決手段、ネットワークの相互の有効活用に必要な信頼関係を培う

ため、30分程度のミニワークショップを行いました。

相談業務（アドバイザー）では、会計についての相談を、公認会計士の中尾さゆりさんに対応していただきました。

市民活動センター企画コーディネートでは、桑名市市民活動センターへの助言を行いました。

また、映画「さとにきたらええやん」上映会、桑名市市民活動センター登録団体の「市民活動団体交流会」の開催をサポートしました。

桑名員弁地区内の3つの市民活動センターの情報交換会、「子ども分野交流会」を企画実施しました。

大手スーパーのイベントスペースで市民団体がイベントを実施できるように話をし、実際にいくつかの団体がイベントを開催しました。

市民活動団体の活動内容に関する積極的な情報発信として、情報誌「NPO活動 news」5回（9月、10月、12月、1月、3月）発行しました。

また協働運営委員会のホームページを作成しました。内容が充実しておらず、次年度以降の課題です。スーパー店舗での掲示スペースを確保して団体情報の掲示をしました。

団体調査として、「市民活動団体情報記入票」を登録団体150箇所に送付し、回答をいただいたのは77団体でした。成果のまとめは、来年度冊子として公表します。

研修会・講座の企画・実施では、職員研修（新規採用職員対象）を9月21日に「NPO活動について」をテーマに、職員研修（全職員対象）を1月25日、1月26日に「全員参加のまちづくりー市民活動を中心にー」をテーマに実施しました。さらに、市民対象に「男女共同参画セミナー」を実施しました。

2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- ー(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- ー(4) その市民活動への応援事業

2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

前年度取材した122団体のうち、1団体が掲載を辞退されたことから、更新団体は121になりました。また、新たに訪問取材を11団体に行い、合計132団体について、日本財団カンパニブログに掲載しました。インターネットで検索すると、その団体の紹介ページとして、かなり高い確率でヒットしてきます。

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

桑名員弁地域で行政が行った市民活動の交流会に、まちのファンクラブの事務局として、またみえきた市民活動センターとして、きらきら基金のアピールと展示を中心に参加し、企画を進める実行委員会の段階から参画しました。

具体的には4つの交流会に参画しました。いなべ市市民活動センターが中心となって、6月21日、22日に阿下喜のさくらホールで「いなべ市市民活動交流会 スマイルフェスタ」が二日間にわけて実施され、3000人以上が来場する大きなものになりました。「桑名祭博」も3年目となり、今期は10月19日に寺町通り商店街を中心に行われました。桑名市市民活動センターの呼びかけで、展示・アピールをしました。東員町では、6月に新しくとういん市民活動支援センターが開設され、12月4日に東員町総合文化センターで「わくわくフェスタ」を実施しました。桑名市では、3月18日にくわなメディアライブで、桑名市市民活動センターが「桑名市市民活動交流会」を開催し、前半はまちづくり助成金の報告会を自治会連合会と共に行い、後半は市民活動団体の展示、舞台発表名などを行いました。

2-(4)-1 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2003年4月の団体設立時から引き受けている同団体の事務局ですが、今期で12期がすぎました。また、まちのファンクラブの会員は94名になりました。参加しない自由があるまちのファンクラブですが、市民活動団体交流会への参加やきらきら基金の支援、諸団体の後援などを中心に活動し、メーリングリストなどを使って市民活動にかかわる情報の交換を行いました。

2011年10月の設立以来、「市民活動応援☆きらきら基金」の代表を輩出し、その活動を後援してきました。また、各地市民活動交流会での設定・展示では、4つの交流会（2-(3)-2で詳述）に参画しました。

2-(4)-2 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

三重県内各地で活動する11中間支援団体が会員となって2012年10月に設立登記した、特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンターは、2012年4月より三重県が設置する「みえ市民活動ボランティアセンター」の指定管理を受け、三重県内の市民活動の活動基盤を整えるための活動をしています。当会も、設立時からの会員としてその活動に参画し、活動を支えてきました。

通期で理事会対応・経営会議などの業務対応をした他、12月に行われた「みえNPO月間」にて、桑名員弁地域の市民活動応援機関への参加の働きかけや幟の掲示のお願いなどを行い、12月23日の協創シンポジウムでは司会を担当しました。また、「東海ろうきん子ども未来応援寄付金」については10月の選考会に参加し、また、9月6日、11月21日、1月30日 あり方研究会（社協との協働）にも参加しました。

2-(4)-3 各種講座への講師派遣

当会が市民活動支援の経験によって獲得してきたさまざまなノウハウを、必要に応じて先方のニーズに応える形で講師の派遣を2回行いました。

具体的には、9月16日にとういん市民活動支援センターの依頼で「NPOとは」という学習会の講師を行いました。また、9月21日には委託事業の中で桑名市の新規採用職員対象に行った「NPO活動について」の研修でワークショップを行いました。

2-(4)-4 前掲以外の市民活動への支援

今年度は、実施しませんでした。

2-(4)-5 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営

桑名員弁地域で活躍する身近な市民活動を応援するため、きらきら基金プロジェクトを推進しました。原則月に1回の運営委員会を開催しました。これらをベースに、11月26日に員弁コミュニティプラザで行った第8回の助成事業では、120名が参加し、当日の寄附投票では78,300円(83口)のご寄附をいただきました。それまでのご寄附と併せて、10団体に、228,300円の助成を行うことができました。また、地域円卓会議も実施しました。

また、1月21日にくわなメディアライブで行った第9回の助成事業では、83名が参加し、4つのパートナー事業に合計12,000円の助成を行いました。ここでは企業の社会貢献活動のアピールとして24社が展示を行い、4社が発表しました。また、企業への協働提案を2事業行いました。

今期はカエル・こぶた募金箱を46個設置いただきました。当日寄附もあわせて、寄附金381,499円のご寄附をいただき、前期繰越「使途限定寄附金」とあわせて、448,300円を助成しました。また、まちのかわらばんを4回発行し、きらきら☆らじおを8回放送しました(3-(6)-1で詳述)。これらに伴い団体訪問取材を行いホームページの団体情報を更新し、プロジェクト全体の概要報告書とかねて「まちのかわらばん2017年春特大号」は2000部を発行しました(2-(3)-1で詳述)。

このプロジェクトの実施体制は、当会が設置した「きらきら基金運営委員会」が主催し、特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター、特定非営利活動法人 いなべこども活動支援センター、特定非営利活動法人 生ごみリサイクル思考の会が協働する形で共催しました。後援は、三重県、桑名市、いなべ市、東員町、木曽岬町、まちのファンクラブ、桑名市社会福祉協議会、いなべ市社会福祉協議会、東員町社会福祉協議会、木曽岬町社会福祉協議会。実施の基本的な財源は、日本郵便株式会社 平成28年度 年賀寄付金48万円の助成、助成原資は皆様からのご寄附を充てさせていただきました。

3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- (5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- (6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信と「きらきら☆らじお」の展開

★「まちのかわらばん」

2016年6月より2017年3月まで、4回の定期発行(A4版4ページ 白黒)と、1回の特大号(A4版24ページ4色カラー)を発行・配布・配信しました。発行部数はのべ9650部ほどになりました。

☆2017年3月1日号(第99号) 2000部発行

まちのかわらばん2017年春特大号

「133団体の紹介・26の企業の社会貢献紹介」他

☆2017年3月1日号(第98号) 1950部発行
「第9回市民活動応援☆きらきら基金助成事業の
ご報告」他

☆2017年1月1日号(第97号) 1950部発行
「11月26日(土)第8回市民活動応援☆きらきら
基金助成事業を行いました」他

☆2016年10月10日号(第96号) 1800部発行
「桑名・員弁の身近な市民活動を応援する、
きらきら基金助成事業」他

☆2016年7月5日号(第95号) 1950部発行

★「きらきら☆らじお」

2016年6月より2017年3月までの間に、8回の定期放送を行いました。スタッフを含む参加者は51名。定期放送でのゲストとしては、個人・市民活動団体・企業人など11名6組にご出演いただき、市民活動や企業活動、まちの話題などの情報提供を行いました。

☆2017/02/07 第97回 サンファーレ2階 4名
服部則仁さんメモリアルトーク②
第9回市民活動応援☆きらきら基金報告

☆2016/12/06 第96回 いなべ市市民活動センター 5名
服部則仁さんメモリアルトーク①
第8回市民活動応援☆きらきら基金報告

☆2016/11/01 第95回 いなべ市市民活動センター 6名
ゲスト：障がい者支援の輪のはな 辻 久好さん

☆2016/10/04 第94回 いなべ市市民活動センター 8名
ゲスト：NPO法人haleohana 西澤美由紀さん 他3名

☆2016/09/06 第93回 いなべ市市民活動センター 6名
ゲスト：NPO法人ヴェリタス 理事長 服部邦夫さん

☆2016/08/02 第92回 サンファーレ2階 6名
ゲスト：夏休みキッズサンガ 矢田俊量さん(善西寺住職)

☆2016/07/05 第91回 サンファーレ2階 8名
ゲスト：ぐる〜ぷマダム寿々 水谷ともさん 柴田すえさん
郷土史家 西羽 晃さん

☆2016/06/07 第90回放送 サンファーレ2階 8名

ゲスト：とらや饅頭 十一代目 安達仁兵衛さん

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

小規模の市民活動団体にとっては、たくさんの人たちに自分たちの活動を伝え、情報を共有し、サービスのご案内などを行うのに、インターネットメディアの活用ははずせません。当会ではさまざまなメーリングリストやブログを活用するしました。

★みえきた市民活動センターホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

★日本財団 CANPAN ブログの「みえきたページ」 <http://blog.canpan.info/miekita/>

★日本財団 CANPAN ブログの「きらきらページ」 <http://blog.canpan.info/kirakiraboshi/>

★Ustream 「<http://www.ustream.tv/channel/みんな元気-こちら市民活動応援局です>」